

歯ッピーフェア2022懸賞クイズ ヒント集

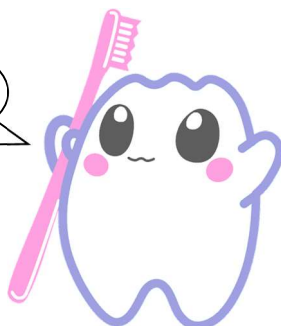
よ〜く読んで正解をさがしてね!!

- 問題① 歯磨き粉は人間の歯を美しく磨くためのものなので、研磨剤や入れ歯にはよくない成分が入っていることもあります。特に研磨剤は入れ歯に細かな傷を入れてしまい、そこへ汚れが入り込み細菌が繁殖し口腔内を不衛生にしてしまう恐れもあります。入れ歯を清掃するには歯磨き粉は使わず中性洗剤(食器洗剤)と歯ブラシで洗う、洗浄剤に浸ける等でキレイにしてください。
- 問題② サメの歯は、鱗(うろこ)が変化したもので一生涯に何度も生え変わります。一匹のサメが一生で生え変わる歯の数は何千本を軽く超えると言われています。サメのアゴにはノコギリのような歯列が何列も存在していて、獲物を襲った際に最前列に生えている歯列の一本の歯でも損傷してしまうと、歯列ごとその後ろに控えている歯列と交換してしまうのです。その結果、サメの歯は一生涯に何千本も生え変わるのです。
- 問題③ 乳酸菌の一種としてビフィズス菌という名前は聞いたことがあるのではないのでしょうか?この菌は主に大腸に住み付くことで腸内環境を整えるため善玉菌(人にとって良い効果をもたらしてくれる菌のこと)として有名です。しかし唾液が少なくなるなど唾液の働きが十分でなくなると、ビフィズス菌は糖をエサにして乳酸の他に酢酸というより強い酸を作り出すことによって、主に乳歯を溶かして虫歯を作ることがあります。一方、母乳に含まれるロイテリ菌という別の乳酸菌は口の中から大腸までの多くの場所にすみ付いて体内の菌を善玉菌へと変えてくれる働きを持ちます。菌質を整えることで悪玉菌(人にとって害となる菌のこと)を減らし、虫歯や歯周病などの口の中の病気も予防することができます。また、母乳由来の菌のため副作用はありません。このように乳酸菌には虫歯を作らない種類もいるのです。
- 問題④ 昆布に含まれているアルギン酸やグルタミン酸などのアミノ酸には唾液の分泌量を増やしてくれる作用があります。小さく切った固形の昆布を口の中に入れておくと、それに反応して唾液が分泌され、さらに昆布の作用も加わり口臭予防としての効果が期待できます。
- 問題⑤ 物の硬さをはかる単位としてモース硬度というものがあります。1から10段階に分かれていて1が一番柔らかく、10が一番硬いとなっています。例えばモース硬度1の例はチョコレート、モース硬度10はダイヤモンドです。では歯はどうでしょうか?歯の表面の構造であるエナメル質はモース硬度7です。そして鉄はモース硬度5です。なんと歯の表面は鉄よりも硬いのです。鉄より硬いエナメル質ですが天敵がいます。皆さんご存知の虫歯菌です。こんなに硬い歯なのに虫歯菌が出す酸によって溶けてしまいます。虫歯で歯を失わないためにも歯は大切にしたいですね!

ホームページをご覧くださいの皆様へ

ホームページには「日曜日や祝日、年末年始に歯が痛くなった」そんな時のための
岡山市休日急患歯科診療所の情報など歯ッピーな情報がたくさんあるよ!

ご応募
お待ちしております



主催：一般社団法人 岡山市歯科医師会
一般社団法人 岡山県歯科医師会
共催：一般社団法人 岡山県歯科衛生士会
公益社団法人 岡山県栄養士会
一般社団法人 岡山県歯科技工士会
岡山歯科技工専門学校